東京学芸大学附属国際中等教育学校
第１回　5年タイワークキャンプ

概要

・日時
2024年11月15日(金)-11月19日(火)、3泊5日
・訪問地域
タイ バンコク/カンチャナブリー
・スローガン
「ผจญภัยในไทย/パジョンパイ ナイ タイ」
・目標
１.本校独自の学習領域「国際教養」の集大成として，海外で異文化に触れ，多様な社会・文化のあり方を知るとともに，
自国の文化を再認識する。
２.現地校交流を通して，異文化に生きる人々と意見を交わす(ディスカッションする)機会を持ち，現代社会の課題に対する意識を共有する。

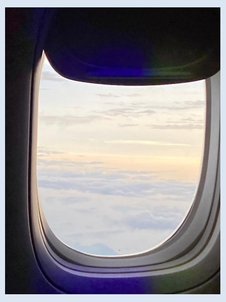
事前学習

・ポスター制作&プレゼン大会
・歴史講座
・タイの方をお招きして勉強会
・調理実習（ガパオライス、ヤムウンセン作り）
・生きなおしの学校で歌う曲「花(谷村新司)」の練習
・コース別事前学習(スライドのプレゼン)
・自由行動での計画立て
・タイの国立科学技術開発機構（NSTDA）日本訪問プログラム参加生徒との交流
・ミニタイ語講座
・学校交流準備/ディスカッション練習

調理実習で作ったガパオライス/ヤムウンセン

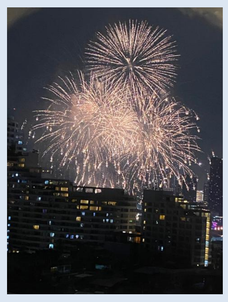
←コース別事前学習(プレゼン)

↑タイの生徒との交流の様子
←ディスカッションの様子



1日目 (11/15)

・羽田空港を出発し、
バンコク/スワンナプーム国際空港へ
・バンコクの街の雰囲気や渋滞を体感
・夜はホテルの窓からロイクラトン祭り(タイ最大の灯篭流し)を楽しむ



2日目 (11/16)

・カンチャナブリーへ出発
・生きなおしの学校での交流

※生きなおしの学校：様々な背景を持つ子が、「生きなおす」ことを目的に創られたタイの孤児院。4日目にCコースが訪れたドュアンプラティープ財団により運営されており、様々な年代の子どもたちが共同生活を送っている。アブラヤシやレモングラスなどの栽培、ビーズなどの制作も生活の中で行っている。

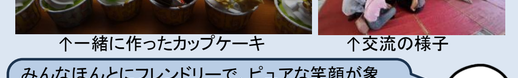
〈活動内容〉
・財団の活動紹介の動画鑑賞
・子どもたちのダンスの鑑賞
(タイダンスやポップダンス)
・日本のダンス(恋するフォーチュンクッキー)の披露
・日本のゲーム(じゃんけん列車)をプレイ
・クラスごとに子どもたちと交流
　レモングラスの植樹
　カップケーキ作り
　ビーズづくり
　せっけんづくり
・カップケーキの試食＆交流
・「花(谷村新司)」をアカペラ歌唱
・記念品、お土産交換

↑じゃんけん列車

↑レモングラスの植樹

↑一緒に作ったカップケーキ

↑交流の様子

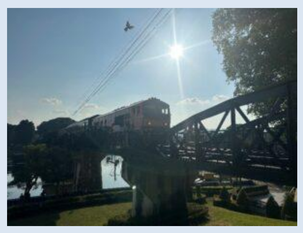


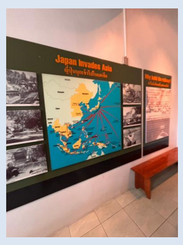
みんなほんとにフレンドリーで、ピュアな笑顔が象徴的だった。言葉が通じなくても歌やゲーム、ジェスチャーなどを通じて短時間で心を開き、仲良くなることができた。

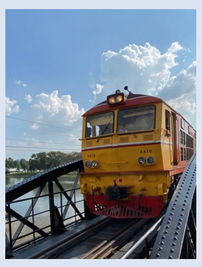
施設もほんとに素敵で、子供達がのびのびと生活していた。タイの郊外の自然豊かな地で日本に興味を持ったり、日本の支援が生きているのを見て心が動かされた。さらに、子供達の「今」だけではなく、将来に続く支援がされていて感動した！

・平和学習

クワイ川鉄橋
　第二次世界大戦中、日本軍が敷設した泰緬鉄道が通るクウェー・ヤイ川に架けられた全長約330mの橋。
　タイの重要な歴史的建造物であり記念碑のひとつである。この橋は第二次世界大戦中に鉄道路線の一部として使用され、紛争と流血の惨事に見舞われた。第二次世界大戦後、損傷した橋は1946年にタイ政府によって修復されているが、アーチ部分は当時の面影を残している。映画「戦場に架ける橋」の舞台にもなっている。







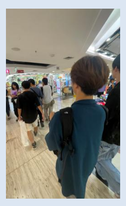
泰緬鉄道博物館
　カンチャナブリー戦没者墓地(ドン・ラック)の近くにある2003年に新設された博物館/情報・研究施設。ここでは、第二次世界大戦中に建設された泰緬鉄道の歴史や運営、捕虜たちの生活、戦争の影響に関する資料が展示されている。また、この鉄道の工事で亡くなった人々について、連合軍の捕虜よりも東南アジアの労働者がはるかに多かったことなど、重要な歴史的事実も紹介されている。

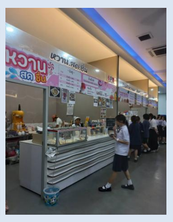
日本軍建立慰霊碑
　泰緬鉄道建設中に犠牲となった連合軍捕虜や労務者の霊を慰めるため、日本人によって建立された慰霊塔。クウェー川鉄橋から徒歩約2分。碑文には、日本語、英語、マレー語、タミール語、中国語、ベトナム語で冥福を祈る言葉が刻まれている。
　WCでは一人ひとり、祈りとともに線香を供えた。

やはり現地に足を運んで実際に目で見ないと分からないものが沢山ある。当時の橋が残っていたり、ところどころネジが外れていたり、ガタガタ音がして歴史感じた。戦争の象徴である橋が今観光スポットとして歴史を学ぶ機会になっていることは良いことであると思った。
博物館では捕虜の人々の生活が写真などで見れてリアルだった。橋に行った後に訪れたこともあって、当時の様子がより良く分かった。

3日目 (11/17)

・バスでバンコクへ
・6時間の班別自由行動
　4-6人のグループでバンコク市内を自由に散策した。
〈解散〉11時頃バンコク市内〈集合〉17時半MBK
　(解散場所と集合場所が離れているため、
　船や地下鉄などの公共交通機関を使うこと必須！)
実際に訪れた場所/活動例
・王宮
・エメラルド寺院
・ワットポー
・ワットアルン
・アイコンサイアム(大型ショッピングモール)
・中華街
・伝統衣装試着体験
・シリラート医学博物館(死体博物館)
・パーク クローン花市場





タイの生徒の日常生活がのぞけ、楽しかった。昼ご飯休憩時に写真撮影などで交流を深められ、国際的な友好関係を結ぶことが出来たことに感動した。

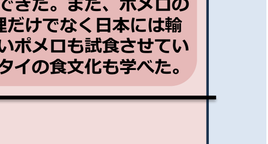
ディスカッションではとても深い議論をすることができた。それぞれの経験や文化的な違いによって持つ信念の違いが見れ、興味深かった。また、相手のディスカッション能力にとても惹かれ、刺激を受けた。

交流してくれた生徒さんたちはみんな日本のことが大好きで、日本の文化もたくさん知ってくれており、温かく迎え入れてくれた。さらに、日本語も上手でコミュニケーションを取れて嬉しかった。自分もタイ語をもっと勉強したいと思った。

逆に自分たちの学校(ISS)の良さにも気づかされた！

4日目 (11/18)

・学校交流
A)Yothinburana School
B)Potisarn Phittayakorn School
C)Sriayudhya School
D)Satit Kasetsart School
の４校にて学校紹介、ディスカッション/ディベート、交流や授業体験を行った。　(日本語＆英語)



実際のディスカッションテーマ
・What is the meaning of learning new languages?
・Is using ChatGPT at school good/bad?
・旅行に行くならどこ？
・お金or時間

・コース別学習

A)APCD/JICA
JICAや青年海外協力隊、APCD(アジア太平洋障害者センター)
APCDが運営しているカフェ・ベーカリーの訪問、試食

生徒の感想：
災害時の障がい者の方々の対応方法などの話を聞くことで、「防災」をより多角的な視点で見ていこうと思った。

B)オーガニックポメロガーデン
sustainable farmingについて
ポメロガーデンの見学とボートツアー/
ポメロを使ったクッキング、試食

生徒の感想：
オーガニックで育てるからこその取り組みについての貴重な話を聞くことができた。また、ポメロの収穫/料理だけでなく日本には輸入できないポメロも試食させていただき、タイの食文化も学べた。

C)ドゥアン・プラティープ財団/クロントイスラム

生徒の感想：
スラムに暮らす人々との話や地域の幼稚園で子供たちと交流や、大きなテーブルを囲んで財団や現地の方に質問をする機会があった。大小さまざまな社会問題までを考えることができ、クロントイスラムに対する関心、理解、シンパシーがとても深くなった。特に、スラムの現状を政治、経済、教育、宗教、環境、人の心理、歴史・・・の視点で話し合えた点は本当に学びになった。

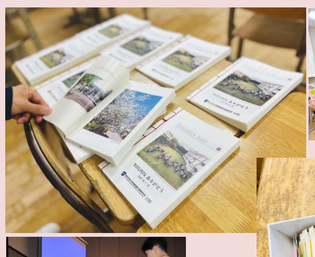
D-1)カセサート大学経済学部
ビジネスワークショップ
D-2)タイ文化体験(ムエタイ/タイダンス/タイ料理)

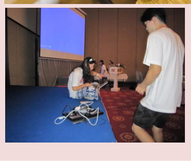
生徒の感想：
プロのムエタイ選手にムエタイを教えてもらうことができました。プロの選手の方にパンチを受けてもらったり、動きを見てもらうことができ、貴重な経験になった。
また、タイ流の準備運動(マッサージ)や儀式などを知ることもでき、有意義な時間になった。

WC実行委員会

総勢21名
　交流班、行動班、パンフレット班の三つの班に分かれ、ワークキャンプに関する様々な準備を生徒主体でも行った。

行ったこと
(パンフ班)パンフレットの作成、校正
(交流班)学校交流の内容の検討
(交流班)生きなおしの学校での交流運営
(交流班)学校紹介スライド等作成
(行動班)自由行動のおすすめ場所検討、学年周知
(行動班)班決めの仕切り
そのほか
スローガン選定
作製ポスターの掲示作業
NSTDAでの来日生徒交流準備
学校説明会準備
保護者会準備、運営
生きなおしの学校のプレゼント検討、水引き作成
学校交流でのプレゼント(写真集、色紙)の作成
ディスカッショングループ分け
直前タイ語講座
WC委員Tシャツ作り！
2日目夜レクリエーション企画/運営





ATLスキルとのつながり

コミュニケーションスキル

情報リテラシースキル

協働スキル/創造的思考スキル

情動スキル

※写真等個人情報が多く含まれておりますため、写真撮影はご遠慮ください。